

受け継がれる伝統の「鍛冶屋の心」

東洋工具株式会社
代表取締役会長 竹中京一氏

「多品種少量の注文でも喜んでお受けします」と語る竹中会長

多くの苦難を乗り越えて

昭和20年、私の義父が住ノ江町で創業しました。私は二代目で、現在の社長である息子が三代目です。創業以来、一貫して工具の製造を続けています。平成の初頭にはバブル景気の影響もあり、好調が続きました。しかし平成5年、6年と立て続けに住ノ江町の事務所と鏡島の工場を火災で焼失、同

じ時期に私自身が二度ガンにかかると不幸が続きました。さらに時代の流れから注文が海外へ流れ、受注も減り、同業者のほとんどが廃業していきました。しかし、自分が残してきたものをどうしても絶やしたくない思いから、現在まで変わらず事業を続けてきました。

多品種少量の商売

当社では、部品の製造を外注しています。当社のブランドであるオリエンタル製品の協力工場は全国に約30ヶ所あります。そこで部品を製造し、自社工場加工、研磨し、組み立てて製品にしています。これは在庫を抱えすぎないことにもなり、不幸中の幸いにも二度の火災の際、損害を最小限に抑



▲「少ない注文でも喜んでお受けします」と語る竹中会長

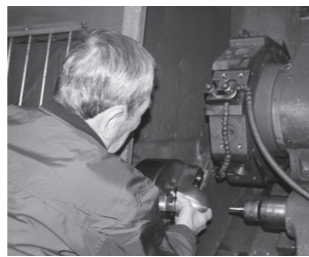
非効率的な商売が、逆に海外に流れた大量生産の商売と棲み分けることになり、現在まで存続することができたのだと思います。

未来に残せ、鍛冶屋の心

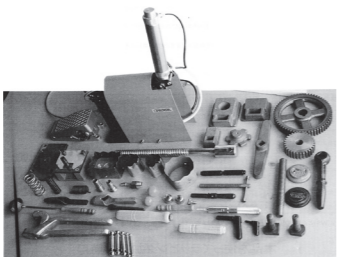
ほしいというお声があり、要望にお応えして万力キットを製造しています。さらに例をあげるとゴルフ場の芝の根切り機の刃です。根切り機の先端に刃を装着するのですが、芝の長さ、フェアウェイやラフなど種類によって変えなければならず、芝の種類や装着する機械によって形状や、大きさ、刃の取付口の形など様々な種類やサイズがあり、当社ではそのような細かい要望に応えることができたので、岐阜、長野県内のいくつかのゴルフ場のものを製造しています。当初はたくさんのお客様の要望にお応えしたいと思い、始めたこの

もちろん多品種少量製造は効率が悪く、商売を成り立たせるのは難しいかも知れません。それを可能にするのは長年の経験、努力、そして勘です。刀鍛冶のように熱した鉄を打って形をつくり、仕上げの過程で「どのタイミングで鉄を打つか」「どれだけ熱するか」などのように、コンピューターや精密機械では再現することができない職人の感覚です。私はそれを「鍛冶屋の心」と呼んでいます。万

つつあると思います。それを残していくことこそが私の夢であり使命なのです。



▲伝統の心が生み出す職人の技



▲制作例色々、こんなものもできます



▲本社工場

力キットや芝の根切り機の刃のようには作りやすく、修理にも時間と費用がかかりません。それらを補うものこそ昔ながらの手作業による製造で、それを現代の商売として成り立たせることができるものこそ「鍛冶屋の心」なのです。各業界で、後継者不足や少子化、学歴社会などでそのような伝統の心が失われ

Company Data

東洋工具株式会社

本社 ● 瑞穂市生津天王東町1-64
電話 ● 058-326-7355
事業内容 ● 各種作業工具製造
創業 ● 昭和20年